

直接マイクロフィルムに作成するシステムである。電子計算機の出力をラインプリンターに行なわず一旦プリントイメージのまま磁気テープに出力する。この磁気テープから入力されたデータが文字生成装置により電氣的に文字を表わす信号に変換され、ブラウン管上に撮し出される。この画像を対面しているカメラによってマイクロフィルムに撮影する。この場合必要があれば印刷物の固定的な部分（例えば各表のタイトルなど）をあらかじめフィルムにしたフォームスライドのフォーマットがハーフミラーを通じてブラウン管上の画像と合成されて撮影される。機械的に作成されるため文字のカスレや欠けたりすることもなくなる。このマイクロフィルムが、写真製版のネガになる。

第四に上げた問題点に関しては出来るだけ図をのせるようにすべきであり、もしのせるとすればその作成は、電子計算機の周辺機器であるカーブプロッターを使用する。実際電子計算室においては毎日の予報図や実況図等をカーブプロッターを使って作成している。

6. あとがき

現在、気象庁で行なわれている定常的な気候統計業務についての概要とそこにおける問題点およびその解決策

をのべてきましたが、これらの問題点の解決策が実施されれば、より有効な気象資料の利用や、国民に対する気象サービスの充実が図られると思う。なお、電子計算機による気候統計がなされる以前の過去資料をどうすべきであるか、あるいはこれらのデータを使っていかなる資料を作成すべきであるか等の問題について本稿でふれなかったことを明記しておく。

最後に、本原稿を書くにあたり適切な助言を与えて下さった気象庁統計課の篠原武次氏、北村幸房氏、田中昭氏に感謝いたします。

文 献

- 気象庁, 1965: 観測所観測統計指針, 1~8, 51・1~71・2.
 気象庁, 1973: 地上気象観測統計指針, 1-1~6-3.
 気象庁観測部, 1973: 気象庁月報の出来るまで, 観測部時報, 第8号, 6~7.
 日本電信電話公社, 1973: 地域気象観測データ通信システム設計書, 1~166.
 日本電信電話公社, 1974: 地域気象観測データ通信システム詳細設計書Ⅱ編, 6-61~7-72.

朝日学術奨励金応募者募集について

朝日新聞社より昭和50年度朝日学術奨励金の推薦応募かた依頼がありましたので、下記により募集します。

記

1. 応募資格: 個人, グループ, 団体を問わない。独創的な研究で研究費に恵まれない研究者の応募, 「学際的研究」を歓迎します。
2. 対象研究: 継続中およびこれから開始する両者とも可
3. 応募は学界の関係者からの推薦により, 特定の応募

用紙による (担当理事のところであり)

4. 奨励金希望金額には特に制限がない (昨年度の贈呈金額は6研究に対して合計800万円でした)
5. 応募締切: 昭和50年2月15日
6. 照会および送付先

〒166 東京都杉並区高円寺北 4-35-8
 気象研究所台風研究部
 電話 03-337-1111

奥田 稜 (担当理事)